



“未来の有権者”が選挙体験

～ 大人への啓発もねらって、保護者参観日に模擬投票体験授業 ～ (事前お知らせ)

と き 11月9日(土) 午前8時30分から9時50分

ところ 区立光が丘春の風小学校(光が丘7-2-1)

9日、練馬区選挙管理委員会(以下、区選管)は、区立光が丘春の風小学校(井上 靖校長)で「小学生選挙体験教室 春の風区長選挙」を行う。区では、小さな頃から選挙を体験し、身近に感じてもらうことを目的に、平成19年度から小学6年生を対象に選挙体験教室を実施している。

今回は、学校側の希望により、保護者参観日となる土曜日に実施することになった。20代や30代の投票率の低下が全国的な課題となっている中、子どもたちへの啓発もさることながら、保護者参観日に来る大人たちへの啓発効果も狙い、区選管では大人向けの啓発チラシも作った。当日は3人の候補者の中から区長を選ぶ「春の風(小学校名)区長選挙」。児童らは、それぞれの政策が書かれた選挙公報を見て、本物の記載台、投票箱で投票を行う。区選管は、「未来の有権者」が「貴重な1票」の重みを忘れずに、8年後の本番選挙で一票を投じてほしいと願う。



過去の小学校での模擬投票

【練馬区選挙管理委員会の若年層啓発活動】

7月21日に投開票がなされた第23回参議院選挙。全体の投票率は、52.61%と過去3番目の低さとなった。また、年代別には、最も投票率が高い50～60歳代に比べ20～30歳代の投票率は約半分という結果が出ている。区選管では、この「若年層の投票率の低さ」を大きな課題として、学校教育との連携を図りながら、小・中・高・大学に於いて、様々な事業を行っている。小学生向けには架空の「区長選挙」を実施し、ただ単に投票するだけでなく、投票所での受付業務や開票所での開票・票の確認・計数作業も体験してもらう。この事業は平成19年度から実施しており、今年度は最も多い7校から手が挙がった。残り6校については、来年1月・2月に実施する予定である。

【本格的な模擬投票】

9日に行われる模擬投票は、架空の「春の風区長選挙」を設定。事前に3人の候補者それぞれの政策が盛り込まれた「選挙公報」を児童に配布し、誰が区長になったら自分の区(地域)が良くなるかを考え、1票を投じる。学校にはあらかじめ、この地域の子どもたちが何を望んでいるかを聞いた上で、候補者のマニフェストを作成。投票の際に使用する投票箱や記載台などの機材はすべて本物を選管が用意し、投票所での受付や立会人は児童が務める。投票終了後の開票作業も本番同様に児童が行い、投票と選挙事務を体験してもらうことで、将来有権者になった時に「選挙はルールに従い厳正に行われる」「選挙はそんなに難しいものではない」という意識を醸成し、未来の投票率アップを図る。「選挙って思ったより簡単だった!」、これは過去の模擬投票を行った、多くの児童たちの感想である。

本番さながらの投票所(体育館)で、記載台に向かい、未来を託す候補者の名前を書くということ…。過去には、緊張のあまり、自分の氏名を書いてしまう子もいた。ぜひ、家庭でも夕食時の話題に選挙のことを取り上げてほしい。

【問合せ】 選挙管理委員会事務局情報啓発係 電話03-5984-1019